

組合員には、さまざまな活動を経験しながら、生活クラブ以外への活動を展開していった方もたくさんいます。「生活クラブとわたし」という視点から、どのようにして今の活動につながっていったのか、昨年12月府中でお片付け・リサイクルの共働事業所をスタートされた重田益美さんにお話を伺います。

地域に根ざす 生活クラブ組合員の活動

ただのキャベツじゃない生活クラブのキャベツ

土谷 昨年は生活クラブ創立50周年でしたが、この「50年」は、組合員活動の歴史そのものだと思えます。今回は、生活クラブ内外でさまざまに活躍されている重田さんのお話を伺いたいと思います。

重田 私でいいのかしら(笑)。

土谷 もちろんです(笑)。重田さんは府中の組合員ですよ。ご加入はいつ頃ですか？

重田 今35歳の娘が4歳の時に加入したので、だいたい31年前かしら。



左：土谷 雅美さん 生活クラブ東京 前理事長
右：重田 益美さん (一社)共働事務所よって屋 理事長

ら。最初の子のときは「親は子どものためにこうしなくちゃー」みたいな意識だったんですが、3人目の時ともなると「親ができるのはちゃんとした食べものを食べさせるくらいかな」と。

土谷 いい意味で力が抜けたんですね(笑)。

重田 ええ(笑)。それで幼児教室の友だちにそんな話をしたら「生協やっているから、一緒にやろうよ」と言ってくれまして。

土谷 生活クラブとわかって入ったんじゃないんですか？

重田 たまたま生活クラブだったんです。それで班に入れてもらって、班会をし、班長が当番で回ってきて班長会に出席し、支部委員会に出るようになって。それから、やっと「こういう組織なのか」とわかったんです。

土谷 参加してわかるということはありませんか？

重田 そのあと農産物委員になっ

ち寄る。でも班会自体も成り立っていないところもいっぱいあります。個人としての参加でいいのではな

土谷 社会もどんどん変わっていきな

重田 でも本当に大変でしたね。一つひとつ班会を回って説明してね。

のなかで個別配送が実験的に導入されて、今後の主流になるんだろ

土谷 組合員の参加の在り方をどこまで保証してどうするかという議論がありましたね。それまで「班」が議決の最小単位でしたから。

重田 そうですね、班のなかで議論して結論を出す。その意見を持

ち寄る。でも班会自体も成り立っていないところもいっぱいあります。個人としての参加でいいのではな

土谷 社会もどんどん変わっていきな

重田 でも本当に大変でしたね。一つひとつ班会を回って説明してね。

みんなに理事をやってほしい！

土谷 府中で組合員活動されていたときと、理事やってやっぱり違いましたか？

重田 違いますよ。やっぱり班長

だったときは理事に言いたいことを言っていました。理事になると、ある合意点ですむことが決まったのだから、「これをみんなでやりましょう！」と執行する側になる。自分のなかでは迷いがあつたとしても、それをみんなですすめようと言っていく経験は理事にならないとわからないかなと思

います。そのあと*1代理人(府中市議会議員)になつちやっただけですが(笑)、理事をやった経験が生きて、行政サイドがわかるようになりま

した。あの人たちはああ考えてるんだらうな、それならこうアプロ

ーチしてみようという。

土谷 「視野」が広がるって感じでしょうか？

重田 そうですね！いろんな立場がわかってくるし、それに迎合するんじゃない、お互いが少しでも納得できるような提案の仕方って

どうすればいいかなという考え方が結構に役に立ちました。

土谷 体験して悩まないと言葉だけの視野になつちやうんですね。

考えたり、決めたりしなきゃいけない。そこに開けるといのが大きいですね。買って食べて「おいしいね」というところから、農産物

委員とかで生産者と関わることで、だれがどう作っているかを知り、

なぜこれを作るのかが見えるようになる。食べるだけじゃなく「消費」とはなにかを考えるように変わっ

ていくということでしょうか？

重田 そうだと思います。チャンスがあれば、理事をやってもらいたいですね(笑)。「物事を決める」という経験は、社会のなかで持た

て、それがとても面白くなつてね。

町田は地場生産者が近くて、畑見学とか、都市農業研究会とかがありました。理事になったときの研修で、講師が「生活クラブのこのキャベツはただのキャベツではありませぬ」と言うんです。ちょうどそのころは黒磯(栃木県生産者)との交流がはじまったときで、田んぼをちゃんと一年ごとに休めながらでないといけないということ

で、空いている年はキャベツを植えることに決めたということでした。

「このキャベツは米を食べるために作ったキャベツ。だから食べなくてはいけません」という話です。そんなことを聞いて、生産する側を尊重した考え方や、しくみがあるからこそ、食べ続けられるんだなと思

いました。

土谷 そうやっていろいろ見聞きして、段々とわかってくるのです

ね。

重田 農産物が連合化するときには、多摩南は生産者を抱えていたので反対意見もありました。

土谷 そこで、どうすればいいかを考えて、最終的には連合化に至

りましたか？

重田 そう、ただただ反対ではなく、その時点での合意点をどう探

すか、今はそれがベストかもしれないねという落ち着きを探る。そして、ほかの人に合意点を説明していくのは理事として大きな

体験でしたね。それから班から個へとという転換期、あの時に理事

をしていたというのも大きかったですね。とても大変で、支部大会

の時、「(個別配送導入で)班単位での議決権をなくしてどうするか」とか「拡大をだれがやるのか」と

さまざまな議論が交わされるなか、当時支部委員長だった土谷さん

の「私たちが責任を持ってやります」という一言で、それならとベテラン組合員の方々も納得してく

れたんですね。

されずに来ているでしょ？生活クラブでは、「私たちが決めていいんですか？」ということまで任せられる。全然経験がないのに、いいの

自分の全然想像しない景色がある

土谷 代理人には、なぜならうと思

われたんですか？

重田 組織再編も区切りかなという

気がしていたのかな。

土谷 次のステップに行つてもいい

かなという感じ？

重田 気の迷いがあった(笑)。

土谷 当時代理人運動に関わって

はあなたたちです」って言われちゃう(笑)。こういうのは、理事やリーダーにならないと持てない貴重な経験なのではないでしょうか。

いたんですか？

重田 いえ、まったく関わって

ません。というか、あんまり好き

じゃなかった(笑)。その時は、代理人を出すことと生活クラブの

活動がリンクしていなかったんです。自分の中で自己実現という

か、思い描いたものを実現させるとい

一般社団法人
共働事業所 よって屋

事業内容
部屋の整理・片付け、荷物の引き取り、部屋の清掃、リサイクル品の販売

利用の流れ
電話で相談→担当者が現場へ伺い見積り→見積り内容がOKならば、作業実施

料金例
お部屋の整理・引き取り
1部屋(6畳) **30,000円**~
お部屋の清掃 **10,000円**~
※条件によって変わります。実際の料金は見積りの後決定。

店舗住所
府中市白糸台5-25-1 車返商店街12号連-103
TEL 042-319-1001 営業日:平日10時~18時(日祝定休)

*1 代理人(運動):生活者の声を行政や議会に届ける活動

【対談】

地域に根ざす生活

クラブ組合員の活動



うか、そういうのがあんまり好きじゃないんです。自分が想像する自分なんていう感じで、それだったから「やってみたいか」というのに乗ってみる。そこに自分の全然想像しない景色があるのかもしれないなど。

土谷 ああ、同じですね(笑)。「やってよ」と言われたときに、なんで私に言うのかなと思います。言われることに何か意味があるんじゃないのかなって。「それならやってみます」と。

重田 わかるわー(笑)。「全然知らないことがあったんだ」とか、代理人になったら「ああこうやって行政とか市民社会が回っていくんだな」という発見があったり、「もうちょっとやりようがあるやってみます」と。

土谷 よって屋は最初から仕事の依頼があったようですが、それは行政とかかわりが生かされたのでしょうか？

重田 生活保護の方の居宅清掃、まだ住んでいるけれどゴミ屋敷になつていたりするところの片づけが数件入りました。自分たちでもびつ

戦わなけりや生活クラブじゃない

土谷 いろんな状況の方がいらつしゃいますが、外に出たい、働きたい、という思いはあるんですよね？

重田 そうね、強く「出たい」とは思わないけど、なにかのきっかけがあつてふわつと出ちゃう(笑)。そうするとちょっと自分にもできると思えるようになる。ちよ

りしましたけど(笑)。過剰人員でかなり丁寧にやります。掃除もするし片づけもするので行政から見たらそこまでやる業者がいなかったということがあるのかもしれないですね。

土谷 いわゆる「寄り添い型」の片づけですよ。これ、どうし

とだけおせっかいに押し出す人がそのときにいる、ということが大事なのかもね。

土谷 でも就職やアルバイトという、それに縛られてしまうのかもしれないですね。いろんなおせっかいが居場所につながる感じなのかな。

重田 そうですね。それと、どこかで「しょうがないか」みたいに流せることも大事ですね。よって屋もいろんな方が働きに来てくれるけど、毎回のよう「私はもう来ません」とか「やっぱ行きません」という電話が何回もかかってくる。それでも「まあしょうがないか」と思うしかないけれど、普通の会社だったら「もう来なくていいです」となっちゃうわけですよ。また、「あの人は働いてないのになぜ同じ時給なんですか?」となつてしまふ。いずれそういう話が出てくるかもしれないと思います。でもその時はみんなで話し合えないよねと言っています。

るんじゃないかな」ということが見えてきたりとか。

土谷 よく「ハードルが高い」というじゃないですか。やってみるとそのハードルって感じますか？

重田 いえ、結局つながっていませんね。

土谷 挑戦すると、自分の知らなかったことへの気づきがあつたり、ネットワークもすごく広がつたりするじゃないですか。生活クラブというくくりから、地域、行政へとか。

重田 そうですね。ある意味、生活クラブの理事の時って「府中にはほとんどいません」みたいな感じですよ？(笑)それが(代理人になると)「どっぷり府中です」という(笑)。そうすると主義主張は違うかもしれないけれど、府中のことを思つて、いろんなことをやっている人たちがこんなにいるんだということが見えてくる。それについて、ただただ自分たちが正しいと思つているだけじゃいけないというか、そんな狭い所じゃなくって、地域つてもっと広い所なんだなつて思えてきます。府中の昔からの良さもあるし、古すぎて変わつていかなないと、というところもある。それらをひっくり返してそれが府中なんだと、代理人になつて府中に関わつて見えてきたところですね。それが面白かつたですね。選挙運動の最初つてひたすら歩くしかないで、歩く知らない府中がたくさんあるんです。

ます? 要りますか」というね。ちなみに、月にどれくらいの件数が入るんですか？

重田 平均で6〜7件ですね。

土谷 府中だけじゃなく、ほかでも片付け事業が広げられそうなので、楽しみなんです。

重田 ぜひやつてもらいたいです。しかもやるなら「今」なんです!

土谷 それはなぜですか？

重田 ちょうど私たちの親世代がだんだんと亡くなる時代です。でも私たちの世代になると、「自分たちはちゃんとやつておこう。子どもたちにはこんな思いはさせられないな」とつい思つちゃうわけです。だから、今そのニーズはたくさんありますね。あと、最初の時期に依頼が来ていたのは「高齢者の居住の住替え支援」です。「認知症になつてしまったから住み替えするのですが、自分が住んでいた家のものを処分してください」というケースです。そうすると結構な量があるし、使えるものもたくさん出てきます。

土谷 なるほど。

重田 あとは、後見人の方から最終的にその方の最後までをみるとなると、家の処分はついて回ります。だからとても必要としていきます」と言われました。インターネットで調べても金額が適正なのかわからないし、ただただゴミのように持つていかれるだけだから、やっぱり信頼できる場所をお願いしたいということでした。

とだけおせっかいに押し出す人がそのときにいる、ということが大事なのかもね。

土谷 でも就職やアルバイトという、それに縛られてしまうのかもしれないですね。いろんなおせっかいが居場所につながる感じなのかな。

重田 そうですね。それと、どこかで「しょうがないか」みたいに流せることも大事ですね。よって屋もいろんな方が働きに来てくれるけど、毎回のよう「私はもう来ません」とか「やっぱ行きません」という電話が何回もかかってくる。それでも「まあしょうがないか」と思うしかないけれど、普通の会社だったら「もう来なくていいです」となっちゃうわけですよ。また、「あの人は働いてないのになぜ同じ時給なんですか?」となつてしまふ。いずれそういう話が出てくるかもしれないと思います。でもその時はみんなで話し合えないよねと言っています。

るんじゃないかな」ということが見えてきたりとか。

土谷 よく「ハードルが高い」というじゃないですか。やってみるとそのハードルって感じますか？

重田 いえ、結局つながっていませんね。

土谷 挑戦すると、自分の知らなかったことへの気づきがあつたり、ネットワークもすごく広がつたりするじゃないですか。生活クラブというくくりから、地域、行政へとか。

重田 そうですね。ある意味、生活クラブの理事の時って「府中にはほとんどほとんどいません」みたいな感じですよ？(笑)それが(代理人になると)「どっぷり府中です」という(笑)。そうすると主義主張は違うかもしれないけれど、府中のことを思つて、いろんなことをやっている人たちがこんなにいるんだということが見えてくる。それについて、ただただ自分たちが正しいと思つているだけじゃいけないというか、そんな狭い所じゃなくって、地域つてもっと広い所なんだなつて思えてきます。府中の昔からの良さもあるし、古すぎて変わつていかなないと、というところもある。それらをひっくり返してそれが府中なんだと、代理人になつて府中に関わつて見えてきたところですね。それが面白かつたですね。選挙運動の最初つてひたすら歩くしかないで、歩く知らない府中がたくさんあるんです。

「家を処分するので使えるものだけを持つてきていいですか?」とか「いっぱいあるから取りに来てほしい」とか、そういう話がチラホラとあるんです。頼むほうからしたら、要るものだけ持つて行つてもらうのはいいけれど、片づけは、別の業者さんを探さなくちゃならない。一度にできた方がいいんじゃないかなと思つておりました。

土谷 エコメッセにいますと生活者のニーズがよくわかるんですね。

て関わっています。その途中で理事をおりて代理人になるんですが、それも、エコメッセに関わつてくれた方に「いろいろ視野が広がるわよ」と言われて。そういう言葉にすぐ乗つちゃうから(笑)。

土谷 柔軟性が高いんですね(笑)。

土谷 さて、「よって屋」ですが、これは流れというより、ご自身で立ち上げたということがありますが、どういったいきさつではじめられたのですか？

重田 エコメッセをやっていると、「家を処分するので使えるものだけを持つてきていいですか?」とか「いっぱいあるから取りに来てほしい」とか、そういう話がチラホラとあるんです。頼むほうからしたら、要るものだけ持つて行つてもらうのはいいけれど、片づけは、別の業者さんを探さなくちゃならない。一度にできた方がいいんじゃないかなと思つておりました。

土谷 エコメッセにいますと生活者のニーズがよくわかるんですね。

背中を押すちよつとしたおせっかい

土谷 さて、「よって屋」ですが、これは流れというより、ご自身で立ち上げたということがありますが、どういったいきさつではじめられたのですか？

重田 エコメッセをやっていると、「家を処分するので使えるものだけを持つてきていいですか?」とか「いっぱいあるから取りに来てほしい」とか、そういう話がチラホラとあるんです。頼むほうからしたら、要るものだけ持つて行つてもらうのはいいけれど、片づけは、別の業者さんを探さなくちゃならない。一度にできた方がいいんじゃないかなと思つておりました。

土谷 エコメッセにいますと生活者のニーズがよくわかるんですね。

土谷 さて、「よって屋」ですが、これは流れというより、ご自身で立ち上げたということがありますが、どういったいきさつではじめられたのですか？

重田 エコメッセをやっていると、「家を処分するので使えるものだけを持つてきていいですか?」とか「いっぱいあるから取りに来てほしい」とか、そういう話がチラホラとあるんです。頼むほうからしたら、要るものだけ持つて行つてもらうのはいいけれど、片づけは、別の業者さんを探さなくちゃならない。一度にできた方がいいんじゃないかなと思つておりました。

土谷 エコメッセにいますと生活者のニーズがよくわかるんですね。

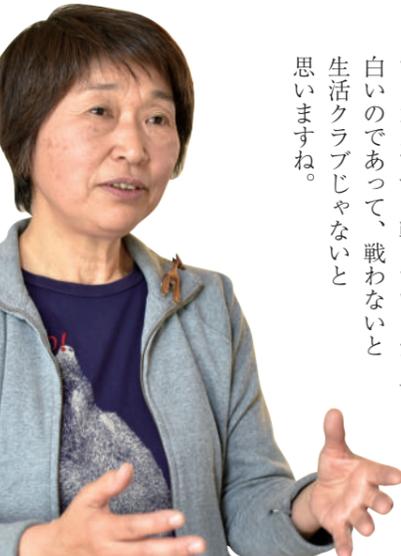
「家を処分するので使えるものだけを持つてきていいですか?」とか「いっぱいあるから取りに来てほしい」とか、そういう話がチラホラとあるんです。頼むほうからしたら、要るものだけ持つて行つてもらうのはいいけれど、片づけは、別の業者さんを探さなくちゃならない。一度にできた方がいいんじゃないかなと思つておりました。

土谷 エコメッセにいますと生活者のニーズがよくわかるんですね。

土谷 さて、「よって屋」ですが、これは流れというより、ご自身で立ち上げたということがありますが、どういったいきさつではじめられたのですか？

重田 エコメッセをやっていると、「家を処分するので使えるものだけを持つてきていいですか?」とか「いっぱいあるから取りに来てほしい」とか、そういう話がチラホラとあるんです。頼むほうからしたら、要るものだけ持つて行つてもらうのはいいけれど、片づけは、別の業者さんを探さなくちゃならない。一度にできた方がいいんじゃないかなと思つておりました。

土谷 エコメッセにいますと生活者のニーズがよくわかるんですね。



土谷 さて、「よって屋」ですが、これは流れというより、ご自身で立ち上げたということがありますが、どういったいきさつではじめられたのですか？

重田 エコメッセをやっていると、「家を処分するので使えるものだけを持つてきていいですか?」とか「いっぱいあるから取りに来てほしい」とか、そういう話がチラホラとあるんです。頼むほうからしたら、要るものだけ持つて行つてもらうのはいいけれど、片づけは、別の業者さんを探さなくちゃならない。一度にできた方がいいんじゃないかなと思つておりました。

土谷 エコメッセにいますと生活者のニーズがよくわかるんですね。

*3 インクルファンド：生活クラブ運動グループ地域協議会が策定した「市民版地域福祉計画」にもとづいた地域福祉事業の立ち上げ支援基金

*2 NPO法人たがやす：援農を必要とする農家と農家体験を希望する市民をつなぐ NPO 法人 東京 CPB (コミュニティパワーバンク)：市民がつくった市民のための非営利市民金融 CS (コミュニティスクール) まちデザイン：「食と農と地域をつなぐ」をテーマに活動を行なっている NPO 法人 環境まちづくり NPO エコメッセ：自然エネルギーの推進、リサイクル事業などに取り組む NPO 法人